

教育・文化関係

<p>件 名</p>	<p>文化会館縮小案について</p>
<p>内 容</p>	<p>私が白井市で自慢できるのは文化会館大ホールの音響がすばらしいことで、中学校の合唱コンクールを見て感動したことや、自分でもステージに立ったことがいい思い出となっています。</p> <p>また、図書館は、子どもから高齢者までの「いこいの場所」であり、いろいろな市民が多く利用しています。特に終活を考えて蔵書が増やせない高齢者にとっては、予約して順番待ちで新刊が読めるのも大きな魅力です。以前、10冊一度に本の消毒ができる備品を揃えてくれたので、安心して本を借りて読書することができ、ありがたいと思っています。</p> <p>そんな素晴らしい文化的施設を縮小するなんて、文化的娯楽を奪うようなことを考えないでほしいとお願いします。</p> <p>追伸</p> <p>以前問題になっていた文化会館大ホールの根本的な安全対策に費用がかかるから縮小案が出てきたのでしょうか。</p>
<p>回 答</p>	<p>文化センターは、平成6年の開館以来、30年近くが経過し、これまで市の文化芸術活動や、生涯学習活動の拠点として多くの役割を担ってきました。</p> <p>しかし、施設全体で老朽化が進んでおり、機器や設備の修繕や更新には多額の費用がかかることに加え、文化会館大ホールの客席天井が既存不適格な状態のため、大規模改修などを実施する際には建築基準法に合わせて改修する必要があります。</p> <p>こうした課題を踏まえ、今後のあり方について現状にとらわれずに検討をするため、令和2年度に『文化センターのあり方検討委員会』を設置し、令和4年9月現在で7回の会議を経たところです。</p> <p>検討委員会では、少子高齢化や人口減少など、今後の社会情勢も見据え、現状維持だけではなく規模の縮小や廃止も含めた議論となっており、令和4年度中に今後のあり方についての提言を教育委員会に提出される予定となっていますので、文化会館等の縮小等、現段階で決定していることはありません。</p> <p>なお、文化センターのあり方検討委員会における調査審議の経過については、市のホームページや市役所1階の情報コーナー、市立図書館で会議資料及び会議録を広く市民の皆様に公開しています。</p>